

1.93%

転倒・転落 a.入院患者での転倒転落発生率

測定値の定義・計算方法

Outcome 分子： 入院中の患者に発生した転倒・転落件数

分母： 入院患者延べ数（人日）

活動のきっかけ

高齢患者の増加に伴い、転倒リスクの高い患者が増加している。治療中に転倒が生じると、ADLの低下や日々の生活空間と活動範囲を狭めてしまう危険性がある。さらに、転倒による外傷等は、回復遅延やリハビリテーションの妨げとなり、退院後の生活にも影響を及ぼす。そのため、急性期病院における転倒予防は非常に重要であると考えられる。

改善活動部門

- 安全管理室
- 薬剤部
- ME科
- 診療放射線科

考察

上手くいったこと	課題と感じたこと
<ul style="list-style-type: none">新病院に移転後、スマートベッドシステムや眠りスキャンを活用して、体動センサーの使用状況や、対応応需時間など、患者の転倒転落対策効果や、転倒後の再発防止へ向けて分析時、可視化が可能となっている。	<ul style="list-style-type: none">病院、施設における転倒、転落事故の減少はむずかしい。ただし多職種、多因子介入により、防ぐことが可能と考え、その精度をいかに高められるかがチームの大きな役割である。転倒に至った背景を含めて事例を丁寧に分析し対策に活かす取り組みは継続して実践していく。